

No.	021	—	1001	事務事業名	消防訓練事務	細事務事業名	防災訓練の起案及び指導事務	公的関与	2				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(2) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	消防職員及び関係機関				根拠法令							
	事業の目的	最終的	大規模災害発生時に関係機関との連携強化に努め組織力の強化を図ります。			今年度	大規模災害、特殊災害訓練に参加し、職員の育成を図ります。						
	活動内容	①	愛媛県が主催する防災訓練に救助隊、救急隊を派遣し各機関との連携を図ります。			④							
		②	平成30年度に開催される緊急消防援助隊中四国ブロック合同訓練にて、合同訓練担当として職員を派遣し各機関との連携を図ります。			⑤							
		③	愛媛大学医学部附属病院内にあるRI施設等において災害が起きた場合の対応等について愛大側と協議、検討を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		愛媛県総合防災訓練	目標			件	1	1	1	—			
実績					件	1	1						
緊急消防援助隊中四国ブロック合同訓練		目標			件	1	1	1(宇和島)	—				
		実績			件	1	1						
愛媛大学医学部附属病院大規模災害訓練		目標			件	1	1	1	—				
	実績			件	1	1							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費				
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		計(A)	0 千円		0 千円		0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.149 人	889 千円	0.149 人	896 千円	0.149 人	914 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		889 千円		896 千円		914 千円						
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	近年は災害が多様化しており、あらゆる災害に対応できる体制を整えるため、必要であると考えられます。												
有効性	事業を継続することで、職員の士気を高め、災害に対応する知識を深め、現場での活動に活かすことができると考えられます。また、地域住民の防災意識向上にも繋がると考えられます。												
達成度	多様な訓練を通じて知識、技術を習得することが多く、現場での活動に役立っています。												
効率性	消防職員の士気の向上により知識、技術力が上がり有効な地域住民への指導等の効率も上がると考えられます。												
当面の課題	大規模災害に対応できる職員の育成が当面の課題です。												
改訂計画	各隊ごとに知識、技術の習得に努め、総合的な訓練及び、関係機関との合同訓練を行ないます。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	災害発生時に、迅速に対応できる体制の強化を図り、市民の安全に努めることが重要です。												

No.	021	—	1002	事務事業名	消防資機材の整備・更新事務	細事務事業名	消防ホース購入事業	公的関与	2				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(1)総合的な・防災・減災対策の充実				
	事業の対象	消防ホース				根拠法令							
	事業の目的	最終的	火災発生時の消火体制を確立し、被害の軽減を図ります。			今年度	保有ホースの耐圧テスト並びに、大規模災害が発生した場合のホースの必要本数についての協議を行います。						
	活動内容	①	消防用ホースの更新。			④							
		②	保有している消防ホースの耐圧テスト。			⑤							
		③	修繕を含む維持管理。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		消防用ホース				本	目標	19	13	12	—		
					実績	19	13						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	635 千円	426 千円	441 千円								
	計(A)	635 千円	426 千円	441 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020 人	119 千円	0.020 人	120 千円	0.020 人	123 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		754 千円		546 千円		564 千円							
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	常時、消防用ホース保有基準数を確保することで多用途に変化してきている災害に対応できる体制を整える事ができるため、必要であると考 えます。												
有効性	消防用ホースは老朽化及び現場での破損もあることから、継続的な購入が必要です。基準保有数を確保する事で、大規模災害や複数件の出動 にも対応できるため有効であると考えられます。												
達成度	消防ホースについては使用後に乾燥する時間が必要であること、また老朽化による水漏れ、現場活動中の破損があるため、今後も継続して行く 必要があります。												
効率性	消防用ホースの計画的な購入により、消防用ホースの保有数を確保することができ、住民の安心・安全につながります。												
当面の課題	現在のホースの保有数では、複数の火災が発生した場合、ホースが不足し、対応の遅れが懸念されます。												
改訂計画	複数の火災が発生した場合には、各地域に設置している格納箱のホースを活用し、対応を図ります。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	複数火災が発生した場合、ホースの保有数の不足が懸念されることから、市内に設置している格納箱のホースを活用する事が必要に なってきますが、調達に時間を要し、対応の遅れも懸念されることから、消防署で保有するホースについては再度見直しを行ってくだ さい。												

No.	021	—	1003	事務事業名	消防水利の整備・監理事務	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(1)総合的な・防災・減災対策の充実				
	事業の対象	消防水利及び消火栓設備				根拠法令							
	事業の目的	最終的	全国の防火水槽整備率の平均値である75%に届くよう、整備を行います。			今年度	初期消火設備の新設、更新及び、火災発生時の消防水利確保に時間を要する地域の対応について検討を行います。						
	活動内容	①	消火設備の点検及び修繕。			④							
		②	老朽化した消火設備の点検及び修繕。			⑤							
		③	消防水利の調査。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		消火栓の管理	箇所	目標			1	2	1	—			
実績						1	2						
耐震性防火水槽設置		基	目標			1	—	1	—				
			実績			1	—						
			目標										
		実績											
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	70 千円	140 千円	70 千円								
		計(A)	70 千円	140 千円	70 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.000 人	11,928 千円	2.000 人	12,024 千円	2.000 人	12,262 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	1.000 人	1,974 千円	1.000 人	1,985 千円					
	全体事業費(A+B)		11,998 千円		14,138 千円		14,317 千円						
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	火災発生時の初期消火を行い、被害軽減を図るために必要です。												
有効性	消火栓を設置することで、初期消火までの時間短縮が望めます。												
達成度	周辺の状況・条件等により設置困難な場所が存在します。												
効率性	地区からの設置要望を考慮し、計画を検討していきます。												
当面の課題	東温市内における防火水槽の整備率は、全国平均を下回っているため、防火水槽の整備率を上げる必要があり、防火水槽が不足している地域には消火栓を設置して、対応を図ることが必要となっています。												
改 革 画	年間通じての消防水利の調査を行い、水利確保に時間を要する地域においては設置計画を早期に行います。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	地域の消防団と協力して、消防水利の点検を行い、有事の際に素早い対応がとれるよう整備を行ってください。												

No.	021	—	1006	事務事業名	消防施設の維持管理事務	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(1)総合的な・防災・減災対策の充実				
	事業の対象	消火栓標識、防火水槽標識				根拠法令							
	事業の目的	最終的	消防用水利標識の整備を行い、水利確保を迅速に行います。			今年度	現在設置している消防用水利標識の調査をします。						
	活動内容	①	水利の所在の明確化を図る。			④							
		②	損傷や老朽化している標識の修繕。			⑤							
		③	新規標識の設置。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		防火水槽標識				箇所	目標	—	20	35	—		
消火栓標識				実績	—		22						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	600 千円	350 千円	420 千円								
	計(A)	600 千円	350 千円	420 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.794 人	4,735 千円	0.794 人	4,774 千円	0.794 人	4,868 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,335 千円		5,124 千円		5,288 千円						
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	標識の補修を行うことで、消防水利の所在確認だけではなく、看板脱落等の事故も防ぐことができます。												
有効性	標識の整備を行うことで、消防団員や一般市民による初期消火までの時間短縮につながることを期待できます。												
達成度	地区から標識板の新設・修繕の要望書が提出されており、優先順位をつけ実施しています。												
効率性	標識の損傷の程度によって、修繕方法を変えており、地区からの要望にいち早く対応できるように努めています。												
当面の課題	消火栓及び防火水槽の看板については、看板の脱落、錆や色褪せ等により文字が読めず、本来の役割を果たしていない標識が多数存在しています。												
改訂計画	地区からの要望書提出だけではなく、管内調査等を行い、損傷等のレベルに応じて修繕等を行っていきます。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	消火栓・防火水槽の標識の整備は、消防水利の所在を確認できるものであり、災害発生時等には必要不可欠です。また、老朽化による看板の脱落、ポールが倒れることで、事故が発生するおそれがあるため、継続して事業を行ってください。												

No.	021	—	1007	事務事業名	消防本部・署車両更新事務	細事務事業名	消防車両更新事業	公的関与	3				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(2) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	消防車両				根拠法令							
	事業の目的	最終的	東温市の実情に応じた車両更新計画を作成し、配備を行います。			今年度	高規格救急車の更新および車両更新計画の作成をします。						
	活動内容	①	車両更新計画作成。			④							
		②	補助金調査。			⑤							
		③	全国の車両更新状況調査。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		災害対応ポンプ自動車	目標			台	1	—	—	—			
実績						1	—						
高規格救急自動車 (高度救命資機材)		目標			台	—	2	—	—				
		実績				—	2						
		目標											
	実績												
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防				費			
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	11,935 千円	24,724 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	30,050 千円	39,276 千円	0 千円								
		計(A)	41,985 千円	64,000 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		41,985 千円	64,000 千円	0 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	高規格救急自動車の使用や、高度救命資機材の積載により、災害発生時の被害を最小限に軽減し、救命率の向上を図る必要があります。												
有効性	最新鋭の車両及び資機材に更新することにより、災害対応が迅速に行なわれ、被害の軽減及び救命率の向上が可能となります。												
達成度	最新車両へ更新することにより、多種多様な災害へ対応でき、被害の軽減及び早期な傷病者への対応ができます。												
効率性	最新鋭の車両の検証及び調査を行なうことで、現場活動等スムーズな活動ができます。												
当面の課題	消防車両の更新計画を見直し、財源については、起債、補助金の活用が十分できるよう計画を立てる必要があります。												
改訂計画	更新車両の必要性及び、地域の実情に応じた実用性を検討します。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	高齢社会の進展により、救急出動の増加が著しく、全国的に大災害が発生している中、地域の実情にあわせた車両更新計画を作成し、隊員の教育にも力を入れていく必要があります。												

No.	021	—	1018	事務事業名	車両の管理に関する事務	細事務事業名	維持管理・車検・整備・修繕等	公的関与	2				
PLAN	課名	警防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(2) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	消防車両				根拠法令	道路運用車両法、労働安全基準法						
	事業の目的	最終的	不足の事態が生じた場合に対応できる職員の育成をします。			今年度	艀装車両の指導マニュアルについて再確認を行います。						
	活動内容	①	自動車メーカーの推奨している車両の日常点検。				④	消防ポンプの日常点検、機能点検及び専門機関による保守点検。					
		②	車検を含む各種法定点検に関する事務。				⑤						
		③	専門機関による特殊車両の点検。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標		
				事務の性質上、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防				費		
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	2,793 千円	2,216 千円	5,424 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.149 人	889 千円	0.149 人	896 千円	0.149 人	914 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		3,682 千円	3,112 千円	6,338 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	法定点検を実施する事により、災害出動及び現場での活動に支障がないよう管理します。												
有効性	災害時に、素早い出動、現場活動によって被害軽減をするためにも、車両の維持管理は大切です。												
達成度	法定点検及び日常点検を確実にこなっており、適正な維持管理ができています。												
効率性	消防車両は特殊車両であるため、専門業者による点検が不可欠ですが、日常点検を実施することで早期の異常を発見する事が可能になります。												
当面の課題	消防車両は特殊艀装を行っているため、突然不具合が生じる確立が高くなっています。												
改 革 画	日常点検の実施及び、緊急時の対応について業者と協議を行い、緊急時の対応を図ります。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	日常点検の実施及び、緊急時の対応について業者と密に協議を行ない、対応できる職員の育成に努めてください。												